

## 解剖生理学Ⅳ

1 単位 (必修) 1 年

### Anatomy and Physiology4

近藤 和也・教授/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座, 二宮 恒夫・教授/保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

友竹 正人・教授/保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座, 安井 敏之・教授/保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

【授業目的】 主要な骨や筋肉の形態と機能, 生殖器の機能とヒトの初期発生を理解する。

⇒ 近藤 (9238, 088-633-7143, kondo@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【授業概要】 神経系の構造と機能, 感覚機能 (眼, 耳, 味覚, 臭覚, 疼痛), 生体の防御機構, 生殖器の機能, 卵子, 精子の形成, 受精ならびにヒトの初期発生を教授する。

【備考】 再試験に合格しないと再受講となる。

【キーワード】 解剖学, 生理学

【先行科目】 『解剖生理学Ⅰ』(1.0), 『解剖生理学Ⅱ』(1.0), 『解剖生理学Ⅲ』(1.0)

【関連科目】 『解剖生理学Ⅰ』(0.5), 『解剖生理学Ⅱ』(0.5), 『解剖生理学Ⅲ』(0.5)

【履修上の注意】 教員は, この教科を学習するための方法と枠組みを提供するが, 学生は自らの学習に対して責任を取る必要がある。ただ単に, 講義内容を暗記するだけではなく, 疑問や問題に対して批判的によく考えることである。

【授業計画】

1. 神経系の構造と機能
2. 脳の構造と機能
3. 脊髄の構造と機能
4. 眼の構造と機能
5. 耳の構造と機能
6. 味覚と臭覚
7. 疼痛
8. 皮膚の構造と機能
9. 生体の防御機構
10. 体温とその調節
11. 男性生殖器
12. 女性生殖器
13. 受精と胎児の発生
14. 成長と老化
15. 試験
16. 統括授業

【成績評価】 後期末に定期テストを行う

【再試験】 再試験を行う。再々試験は行わない。

【教科書】 「人体の構造と機能 1 解剖生理学」(系統看護学講座 専門基礎 1) 医学書院

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217701>

【連絡先】